

令和2年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：33003
学校名：札幌中学校

プログラム改定のポイント

- ◎自ら体力向上を目指し、日常生活に運動する習慣を取り入れる姿勢を養う。
- ◎自らの生活習慣を振り返り、健康の保持増進に努める姿勢を養う。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな体」の育成に係る目指す子ども像	☆仲間とともに運動する楽しさを実感し、自ら積極的に運動に親しむ子ども ☆日常生活の中で、自らの健康の保持増進について考え行動できる子ども		
「健やかな体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【昨年度の具体的な取組】 ○保健体育の授業における日常生活にも取り入れられる運動の実施。 ○保体常任委員会による自主的なスポーツレクの実施。	【成果】 ⇒学校以外でも自ら運動に親しみ、運動が好きな生徒が増えた。(29年度約62%→30年度約66%) ⇒学級対抗で協力しながら、楽しんで運動を行うとともに、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツが大切だと思う生徒が増えた。(29年度約59%→30年度約64%)	【課題】 □より定着させるために、左記の取組を継続していく必要がある。 □保体常任委員会だけではなく、他の委員会とも協力して組織的に行うことが必要である。
	B 健康に関する指導の充実	【昨年度の具体的な取組】 ○ ○「札幌市部活動の方針」に基づいた、休養日の設定や体制の整備。 ○スケジュール手帳を活用した、自らの生活習慣の振り返り。	【成果】 ⇒専門の方から性や命の大切さに関する正しい知識と理解を深める機会となった。 ⇒指導者が限られた時間で、効率のよい練習をするという意識が高まった。 ⇒手帳の活用で、睡眠時間など生活習慣の状況把握と指導に生かすことができた。	【課題】 □3学年のみの実施となったため、他学年の取組へ広めていきたい。 □短期間で多くのことをやるのではなく、時間をかけてゆっくりやりたい生徒が多い実態がある。 □スケジュール手帳の活用状況に個人差がある。
今年度の具体的な改善策(取組)	取組の最重点	協働的な取組による学びに向かう意欲の喚起 生涯を通じて運動に親しむための知識・技能の獲得		
	A 体育に関する指導の充実	○新体力テストにより自己の体力を分析し、体力向上に努める態度の育成を目指した授業展開を目指す。 ○東京開催となるオリンピック、パラリンピックを題材に運動やスポーツに興味・関心をもつ授業展開などを工夫する。 ○スポーツレクを継続し、日常的に取り組むことができる運動の機会などを設定する。		
	B 健康に関する指導の充実	○保健の授業だけではなく、道徳や総合的な学習の時間などを通して、性に関する指導を充実させる。 ○自らの健康の保持増進に目を向け、手帳を有効に活用して食事や睡眠等の基本的な生活習慣の確立を目指す。 ○運動部入部者を対象としたトレーニング講座を開き、体のつくりや動かし方を学ぶ機会を設ける。(部活動振興会)		
検証の方法	各種調査等の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用(日常の実技テストや観察等) ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用		

